

オーダー金属建材の菊川工業 最長65歳までの定年延長制度を導入 人生100年時代の到来に向けベテラン社員の活躍を推進

建築物の金属製内外装工事を手がける菊川工業株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：宇津野嘉彦、以下菊川）は、2022年12月21日より定年年齢を60歳から65歳に引き上げる新制度を導入し、2023年1月21日より運用開始したことをお知らせいたします。

■ 定年延長制度概要

定年年齢：60歳（現行制度）→ 最長65歳（新制度）に引き上げ

導入日：2022年12月21日（運用開始日：2023年1月21日）

対象者：導入日以降に60歳を迎える社員、及び導入日時点で60歳以上65歳未満の嘱託社員

■ KIKUKAWAの定年延長制度3つのポイント

● 選択定年制

60～65歳の間で、各個人が定年年齢を自由に選択できるようにします。選択した年齢での定年後、嘱託社員としての再雇用制度もあります。

● 役職定年制

60歳を役職定年として、優秀な若手社員に役職就任の機会を与え、組織の新陳代謝を促します。

● 65歳未満の既定年者も適用対象

制度導入日時点で、現行制度で既に定年を迎えていた65歳未満の嘱託社員も定年延長の適用対象となります。希望に応じて正社員に戻ることが可能です。



■ 定年延長制度導入の背景・狙い

近年、少子高齢化の進展や年金支給開始年齢の引き上げなど、シニア層の雇用確保に対する社会的要請が高まってきています。また菊川においても、60歳以上の従業員が全従業員数の約16%（2022年12月21日現在）を占めており、知識や経験の豊富なベテラン社員は貴重な人材と考えています。そこで、働く意欲のあるシニア世代がより生き生きと働けるよう、定年延長制度を導入することにいたしました。定年年齢に選択の幅を設ける、65歳未満の既定年者も適用対象とするなど、柔軟な制度運用により、人生100年時代におけるシニア世代の多様な働き方を支援してまいります。また、ベテラン社員と若手社員がともに働くことで、ベテランから若手への技術伝承を進め、会社全体の競争力の向上も図ってまいります。

■ 会社概要

菊川工業は1933年創業のオーダーメイドの金属建材メーカーです。創業以来、時代をリードする国内外の建築物に果敢に挑戦しています。

[社名] 菊川工業 株式会社

[代表者] 宇津野 嘉彦（うつの・よしひこ）

[所在地] 本社：東京都墨田区菊川2-18-12

[従業員数] 179名（2022年12月21日現在）

工場：千葉県白井市中98-15

[URL] <https://www.kikukawa.com/>

<本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします>

菊川工業株式会社 プロジェクト統括部 広報チーム 担当 渡邊・斎藤

TEL: 047-492-0144 E-mail: web@kikukawa.com